名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	キャリアⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	担任
開講科目	キャリアデザインⅠ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
社会に出るということ、楽しく生き生きと歳を重ねていくということを、一緒に考える時間だと捉え、将来の自分について明るく前向きに想像できるようになる。そしてそのために必要な努力は何かを自ら考えられるようになる。

【到達目標】
担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを学ぶことができる。また、学校イベントを企画できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	担任とクラスメイトのキャラクターを理解し、よりよい関係を築くきっかけをつかむことができる
2回目	第1週を振り返って、各授業の目的を確認し、授業に対する自分自身の目標を持つことができる
3回目	東山動植物園での気づきを共有できる／施設見学の行程を組み、プランニングを実践できる
4回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
5回目	施設見学の道中を振り返って得た気づきを、次のプランニングに活かすことができる
6回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
7回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
8回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
9回目	学校行事を振り返って、課題とその改善策を見出すことができる
10回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
11回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
12回目	夏休みの過ごし方を考え、自分で自分のための目標を持つことができる
13回目	夏休みを振り返るとともに、学生スタッフの経験を自らの成長や気づきに繋げられる
14回目	入学してから習得したものや上達したことを見つけ自己を認められる
15回目	前期で読んだ本を他者に紹介し、学びや気付きを仲間と共有する楽しさを知ることができる
準備学習 時間外学習	前期の間に最低2冊、本を読みましょう。 時事問題に関心を持ち、1週間で気になったニュースを毎週皆で共有しましょう。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度 （100%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	日々の学校生活がより充実するように、 また、将来を明るく前向きに想像し、創造するための情報やヒントを伝えます。 皆で想いを共有する時間としても、この時間を大切にしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
担任が配布する資料(適宜)・ノートパソコン

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	アニマルベーシック	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	上野 吉一
開講科目	アニマルベーシック	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
生命の誕生から進化、生体システム、生態系の複雑さ、人間と動物の相互関係、環境問題、そしてこれらに関連する法規まで、生命科学の幅広い領域について深く理解できる。特に、生物多様性の重要性、外来種や絶滅危惧種の問題、地球環境の保全、バイオテクノロジーの進展とその影響など、これらが人間の生活、健康、環境に与える影響を包括的に考察することができる。

【到達目標】
生命の進化、生体機能、公衆衛生、医療技術、生態系のダイナミクスまで、生命科学の広範囲な側面について学ぶ。特に、生物多様性の重要性、遺伝学と繁殖技術、環境問題、外来種と絶滅危惧種への理解を深める。これを通し、動物と環境に関連する現代的な課題について科学的な視点を獲得し、持続可能な未来への貢献を目指す知識と意識を高めることができる。

授業計画・内容	
1回目	「進化・分類・光合成・食物連鎖」 生命がどのように誕生し進化したか、現在の生命の姿を理解できる。
2回目	「動物の血液」 血液とは何か、どのような働きをしているのかを理解できる。
3回目	「公衆衛生・人獣共通感染症」 人と動物の共通の感染症についての基礎を理解できる。
4回目	「薬剤と医療器具の扱い方」 動物を管理する上での薬剤や医療器具の取り扱いを理解できる。
5回目	「生存兆候」 生きていること指標「生存兆候（バイタルサイン）」を理解できる。
6回目	「生体防御システム」 生体が持つ病原菌などへの防御システムについて理解できる。
7回目	「外分泌・内分泌・代謝・運動器官」 生体の状態を調整する仕組みを理解できる。
8回目	「五大栄養素と飼料効率」生命維持や成長を不可欠な栄養や給餌の課題について理解できる。
9回目	「遺伝と繁殖」人為的な繁殖を実施する上での基礎知識を理解できるようになる。
10回目	「バイオテクノロジー：遺伝子と細胞の操作」 遺伝子操作やクローン技術の基礎的知識を理解できる。
11回目	「生物多様性」 多様な生物が存在することの意味・価値を持つのかに関する基礎知識を理解できる。
12回目	「外来種と絶滅危惧種」 外来種や絶滅危惧種が生じる原因や引き起こされる問題を理解できる。
13回目	「地球環境問題」 地球環境が抱える問題、それに対応するための方策を科学的に理解できる。
14回目	「エコロジーに関わる法規」 環境を保全していくのための法律やその目的などついて理解できる。
15回目	定期試験

準備学習 時間外学習	新聞やネット上のニュースなどに生物や環境に関する情報は数多く掲載されています。積極的に機会を作り、そうした情報を調べ、どのようなことが起きているのか、どのような問題に繋がっているのか、どのような解決法が考えられているのかなどに少しでも関心を持つように心掛けましょう		
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% 上記内容にて合計100%とします
受講生への メッセージ	生命科学の基本原則から地球環境問題まで、広範囲なトピックについての理解を深めることができます。この知識は、生命に対する深い理解と、それを取り巻く環境や社会的な課題への意識を高めるための基盤となります。また、現代の環境や社会的課題に対してより科学的かつ責任あるアプローチを採ることを可能とします。本講義において、そうしたことのための基礎となる知識を身に付けてましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
＜教科書＞
ECO業界で役立つ　基礎生物学
＜参考書＞
サイエンスビュー生物総合資料. 実教出版

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	ITⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	コンピュータ演習Ⅰ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
IT・AIに関する知識とスキルを学び、IT関係の企画立案が出来る力を身に付ける。ITリテラシを学び、ネットトラブルを回避する知識とスキルを身に付ける。また、ビジネスで必要なWord・Excel・パワーポイントのスキルを身に付ける。授業は、知識の理解だけ終わらないようグループワークや実習を取り入れて進めていく。※大学エクステンションセンターでIT関連資格を指導する教員。応用情報技術者、情報処理安全確保支援士。

【到達目標】
ビジネス活用できるWord/Excel/パワーポイントのスキルに加え、AI技術に関する知識も身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	ITガイダンス　メールアドレスの設定が完了し、ITリテラシーのテストに合格できる
2回目	Word1　基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2　基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。個人情報とプライバシーについて理解できる。
4回目	Word3　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。企業戦略を分析できる。
5回目	Word4　図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。AI用語を説明できる。
6回目	Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。コンプライアンスについて説明できる。
7回目	チラシデザイン、DTP（PCを使ったデザイン）体験でチラシを作成できる。
8回目	Excel1　基本的な表を作成することができる。（入力、罫線を引く、数式、関数を使って計算）
9回目	Excel2　基本的な表を作成することができる。ソーシャルメディアリテラシについて理解できる。
10回目	Excel3　グラフの作成をすることができる。水族館・動物園で導入されているシステムを分析ができる。
11回目	Excel4　グラフの作成をすることができ、表とグラフを印刷することができる。AI用語を説明できる。
12回目	Excel5　これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。SNSの注意点について説明できる。
13回目	水族館・動物園で導入されているシステム分析が出来る。アルゴリズムが理解できる。
14回目	定期試験：就職活動および就職先で活かすべきスキルが身に付いたかを確認する。
15回目	まとめを行い、前期で学んだITスキルと知識を実践できるようになる。AI用語を説明できる。
準備学習 時間外学習	・講義の中でも紹介するがIT関連のニュースや書籍に積極的に触れる機会を作ること ・必要になった時にすぐに使えるように、講義中に実習したことは整理して保存しておくこと。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	ITのスキルと知識はこれからの時代に必須となっている。知識を増やすには普段から意識して情報に接することが大切になるため、IT系のニュースに触れる機会を増やすこと。また、Word・Excel・パワーポイントは、資料作成など他の授業でも必要なスキルのため、早く身につけることを心がけ、自ら積極的に学ぶ姿勢を持つこと期待する。

【使用教科書・教材・参考書】
Word2019、Excel2019（滋慶オリジナル）
滋慶学園グループ「IT・リテラシー」（滋慶オリジナル）
「30時間でマスター　プレゼンテーション＋PowerPoint2019」（実教出版）
データ保存のための記録媒体　USBフラッシュメモリ

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	ビジネスマナーⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大嶋　愛
開講科目	ホスピタリティ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
マネジメントに必要な信頼感(①マネージャーに求められる人間力 ②マネジメントに必要なマインド ③マネジメントに必要なコミュニケーション)を体得する
※2006年から研修講師として活動し、企業や学校法人において1,000回以上の登壇実績がある。言葉と行動に影響を与える『心のあり方』を専門的に学び、これからの時代を担うビジネスパーソンの支援を得意としている。

【到達目標】
人間力とコミュニケーション力を高めることでマネジメントに必要な信頼感を養う
①考える力を培う
②当事者意識を培う
③コミュニケーションを修得する

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・ホスピタリティとは
2回目	人間力を磨く①（ エネルギー管理 ・ 人格とは ）
3回目	人間力を磨く②（ エネルギー管理 ・ 当事者意識 ）
4回目	人間力を磨く③（ エネルギー管理 ・ 全てはバランス ）
5回目	コミュニケーション力を高める ①（ コミュニケーションとは ）
6回目	コミュニケーション力を高める ②（ 聞く力を磨く ）
7回目	コミュニケーション力を高める ③（ 伝える力を磨く ① ： Iメッセージ ）
8回目	コミュニケーション力を高める ④（ 伝える力を磨く ② ： whole-part法 ）
9回目	コミュニケーション力を高める ⑤（ 報告 ・ 連絡 ・ 相談 ）
10回目	コミュニケーション力を高める ⑥（ 実践編 ： ワーク ）
11回目	コミュニケーション力を高める ⑦（ 最適解を導く ： ワーク ）
12回目	人間力を磨く④（ 振り返り:エネルギー管理・プロとは・人格・当事者意識・現実を創る原理原則 ）
13回目	人間力を磨く⑤（ サービスとホスピタリティの違い ）
14回目	定期試験
15回目	試験返却　解説　振り返り
準備学習 時間外学習	感情（エネルギー）を管理する 自分で考え、自分の言葉で表現する 相手の話をしっかり（聞く）利く

評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	信頼感を高めるために、常に自分の感情（エネルギー）に注目し、受け入れ、調えられるようにしましょう。 また、自分のネガティブな感情と向き合い、なぜそのように思ったのか共に考え、意見交換し、 ポジティブに捉えられるようにしていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
オリジナルテキスト

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	マネジメントⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	マネジメント	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
・企業で働き成果を出すために必要な基本的知識を習得する。
・経営戦略、マーケティング戦略、人と組織のマネジメントについのて知識と考え方、活用方法を習得する。
・グループワーク、アクティブラーニング等でコミュニケーション能力を身につける。
※中小企業診断士の資格を保有し、企業の経営戦略やマネジメントに関する支援を行う。

【到達目標】
動物園・水族館をはじめとした動物施設の運営に必要な知識について学び、組織で動くためのコミュニケーションを身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、ビジネスマネジャー講座の概要、学習の進め方を理解し、実行できるようにする。
2回目	自己管理、スケジュール管理、時間管理の方法を理解して、計画的にものごとを進められるようにする。
3回目	＜第1部　経営戦略＞　1．経営戦略の全体像　企業を経営するための基本的な考え方を習得する。
4回目	＜第1部　経営戦略＞　2．経営理念　企業を経営する目的・理念を理解し、考える実習を行う。
5回目	＜第1部　経営戦略＞　3．環境（SWOT）分析　動物園・水族園を取り巻く環境を分析する実習を行う。
6回目	＜第1部　経営戦略＞　4．事業ドメイン設定　動物園・水族館の事業領域を考える実習を行う。
7回目	＜第1部　経営戦略＞　5．成長戦略　企業を成長させる4つの方向性を知り習得する。
8回目	＜第1部　経営戦略＞　6．競争戦略　ライバル企業と競争するための3つの戦略を習得する。
9回目	＜第1部　経営戦略＞　7．差別化戦略（ランチェスター戦略）　ライバル企業に打ち勝つ方法を習得する。
10回目	＜第1部　経営戦略＞　8．財務戦略　企業の収支を理解し、利益を上げる方法を習得する。
11回目	＜第1部　経営戦略＞　9．SDGsと経営　動物園が考えるべきSDGsに資する活動を考える実習を行う。
12回目	＜第2部　マーケティング戦略＞ 1.マーケティング・コンセプト　マーケティングの考え方を習得する。
13回目	＜第2部　マーケティング戦略＞ 2.標的市場の設定　市場区分方法を知り、標的市場の設定実習を行う。
14回目	前期試験　経営戦略についての知識と活用方法が身についたかを確認する。
15回目	前期で学んだことを振り返り、学んだ知識の使い方を考える。
準備学習 時間外学習	・学んだことの意味を考えて、日々体験することに当てはめて理解を深める。 ・自分が企業（動物園・水族館）を経営することを想定して、自分だったらどうするかを考える。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	企業の経営や運営をするための方法を学んだら、日々の生活で体験することがらに当てはめて考えてみてください。自己管理やコミュニケーションの方法については、実際に活用してみてください。学んだ知識は活用してこそ意味を持ち、学ぶことが楽しくなります。

【使用教科書・教材・参考書】
・講師が作成するオリジナル資料
（参考書）・経営戦略の基本（日本実業出版社）
（参考書）・経営をしっかり理解する（日本能率協会マネジメントセンター）
（参考書）・マーケティングの基本（日本実業出版社）
（参考書）・マーケティング戦略（有斐閣アルマ）

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	海洋・水生生物	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	立花 真澄
開講科目	海洋哺乳類	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
ペンギン・アシカ・アザラシ・イルカなどの、種類や違いを理解し見分ける事が出来る。
飼育方法を理解することが出来る。

※実務経験：二見シーパラダイスに5年、飼育員として勤務。

【到達目標】
鯨類を中心に海に生息する哺乳類の分類、行動、生態の基礎について学び、生物への理解を深めることができる。
動物園・水族館で飼育されることの多い海洋生物の内、魚類を除いた種をターゲットに飼育や展示のポイントを掴むことができる。

授業計画・内容	
1回目	トレーニングの目的：トレーニングの必要性を理解できる
2回目	トレーニングの方法：ターゲットなどの使い方を学び理解する
3回目	鰭脚類: 飼育下での健康管理、飼育について理解する
4回目	鰭脚類: 分類・種類を理解し説明する事が出来る
5回目	鰭脚類: 体のしくみ・それぞれの違いを理解する
6回目	ペンギン: １８種類の見分け方や違いを理解し説明する事が出来る
7回目	ペンギン: 生態について理解する
8回目	ペンギン: 体の仕組み・各部名称を理解する
9回目	ペンギン: 飼育方法などを理解する
10回目	鯨類: 分類・種類などを理解し説明する事が出来る
11回目	鯨類: 体のしくみを理解する
12回目	鯨類: 飼育方法・輸送について理解する
13回目	これまでの学びを復習し、動物の効果的な展示についてアイデアを発表できるようになる
14回目	試験
15回目	試験返却・振り返り
準備学習 時間外学習	

評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	動物を観察する事で種類や違いを理解し、個体の違いなど見分ける事で、何が出来るか考え視野を広げて欲しいと思います。		

【使用教科書・教材・参考書】
プリント資料を配布します。

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	アニマルベーシック	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長谷川　明子
開講科目	環境教育	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
持続可能な社会の実現に向けて、生物多様性保全は必須です。
生物多様性を保全するための基礎知識を学びつつ、社会で実践していることを一緒におこなっていきます。

※講師紹介　ビオトープ計画管理士1級。博士。尾張西部生態系ネットワーク協議会会長。日本生態系協会評議員。

【到達目標】
地球上における人と動物を取り巻く環境と、その相互関係について学び、持続可能なより良い社会づくりに貢献できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	未来を考える「バックキャスティングと4つの窓」：持続可能な社会の実現に求められる人材を意識できる
2回目	生物多様性条約とSDGs：生物多様性条約ができた背景を理解し、自分にできる行動のきっかけをつかむ
3回目	誰にきく？：自然環境保全に関する様々な機関（NGOなど）の活動、資格と社会のしくみが説明できる
4回目	エコラベル（1）：森林を守るために私たちができることが実践できる
5回目	エコラベル（2）：海をまもるために私たちができることが実践できる
6回目	エコラベル（3）：エシカルとは？　企業が実践していることを説明できる
7回目	生物多様性を保全するための事業：ビオトープ・生態系ネットワークの概要について説明できる
8回目	生態系とは？　食物連鎖、保全生態学、生物分類の基礎用語が説明できる
9回目	チョウと街づくり：チョウの生態を理解し、生態系保全のために出来ることを提案できる
10回目	境目が大切：エコトーンについて理解し説明できる
11回目	水辺の生き物：トンボ類やカエルなどの両生類が生息するための空間を提案できる
12回目	草地・草原の鳥：藤前干潟や工場での取り組みを紹介できる
13回目	水田や川の魚たち：魚道が説明できる。メダカとカダヤシの違いのイラストが描ける
14回目	哺乳類：チタキツネ？　生態系ネットワークとロードキルについて説明できる
15回目	外来種は悪者？：特定外来生物法を理解し外来種対策および遺伝子汚染の問題を解説できる

準備学習 時間外学習	身近な足もとの自然の移り変わりを「みる」ことができる力を高めるよう、日々の変化を動画撮影などを通じ可視化します。また、その社会実践としてエコ新聞作成などの広報活動を実践し、人に伝える能力を高めます。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（20%） 4. 課題成果（30%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	「人は見たいものしか見ない」生き物です。そして、「大切なものは目にはみえない」 だから、この講義を通じて、自然を「MIRU」力と伝える力を一緒に高めていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】
生物多様性　私と地球を元気にする方法　技報堂出版社　　長谷川明子著

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	海洋・水生生物	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	楠本　真紀
開講科目	水族館飼育演習	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
水族館の現状を理解し、運営をする側になった時に何が必要か少しでもイメージができるようになる。自分の考えを人に伝えることができるようになる。
＊水族館（二見シーパラダイス 現 伊勢シーパラダイス）で10年勤務、イルカをはじめトド、セイウチ、ゾウアザラシなどの海獣類を飼育、トレーニング、ショーなどを担当。

【到達目標】
水族館の飼育管理、設備管理について学び、最新の業界動向について説明する事が出来る

授業計画・内容	
1回目	授業の目的と目標を理解し、説明することができる
2回目	水族館の目的と意義を学び水族館の役割4つ、JAZAについて説明することができる
3回目	JAZA１０年ビジョン、JACRE、業界の情報交換について理解し、説明することができる
4回目	最新施設の構造（照明、映像、演出）を見て説明することができる
5回目	最新施設の構造（集客、IT活用、商品）を見て説明することができる
6回目	業界の変化を理解し、意見交換や発表をすることができる
7回目	館内美化のための掃除の重要性について説明することができる
8回目	水族館における展示の定義、その心掛けを学び説明することができる
9回目	水族館における展示の歴史、展示計画、構想を学び説明することができる
10回目	水族館へ行く際の時間、行程を自ら立てることができる
11回目	施設の構造、運営について見て、説明することができる
12回目	最新施設とは違う構造、運営について意見交換をし発表することができる
13回目	展示の動線と水槽の形状、目的に分けた展示手法を学び説明することができる
14回目	水族館における配慮を学び説明することができる
15回目	前期試験・振り返り
準備学習 時間外学習	国内にある水族館がどういった施設かを事前に調べておいて下さい。また発想力をつける為に、世の中の動きにも興味をもちニュース等をチェックして下さい。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	自分の考えを発表する場を授業の中でつくっていきます。間違っていてもいいので、できるだけ授業の中では発言をして下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：社団法人 日本動物園水族館協会発行 新飼育ハンドブック 水族館編 第３集・第４集

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	アニマルベーシック	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	土屋　美穂
開講科目	動物の健康管理	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
生物学・分類学の基礎を理解し、講義で取り上げる種それぞれの特徴を捉えられるようになる。種ごとの魅力を自らの言葉で人に伝えることができるようになる。各種に適した飼育管理の方法を自ら考えられるようになり、提案もできる。

【到達目標】
エキゾチックアニマルへの正しい向き合い方が身につき、種ごとのより良い飼育管理の方法を自ら考え、工夫することができる。

授業計画・内容	
1回目	エキゾチックアニマルを取り巻く現状と課題を知り、向き合い方を考えることができる
2回目	哺乳類編(1)全般：哺乳類の分類と種類、体の特徴を知り、比較から応用する考え方が身に付く
3回目	哺乳類編(2) 兎形目の種類、体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
4回目	哺乳類編(3)テンジクネズミ科の体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
5回目	哺乳類編(4)ハムスターの種類、体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
6回目	哺乳類編(5)リス科の体の特徴、飼育、主な疾病について学び、フクロモモンガとの相違点を理解できる
7回目	哺乳類編(5)スナネズミ、デグー、チンチラの体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
8回目	哺乳類編(5)ミニブタの体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
9回目	哺乳類編(7)ﾌｪﾚｯﾄ、ﾐｰｱｷｬｯﾄ、ﾘｽｻﾞﾙの体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
10回目	哺乳類編(7)ハリネズミ、テンレックの比較を行い、共通項と相違点を理解できる
11回目	鳥類編：鳥類の分類、種類、体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
12回目	爬虫類編：カメの分類、種類、体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
13回目	爬虫類編：ヘビ・トカゲの分類、種類、体の特徴、飼育、主な疾病について学び、適切に管理できる
14回目	期末試験：本科目で学んだ内容を確認、日頃の飼育管理に活かせているか否かを確かめることができる
15回目	解答用紙の返却、問題のねらいと模範解答及び解説、科目の総括を行い、課題を見出せる
準備学習 時間外学習	日頃から動物に関する本やニュースに興味関心を持ち、目を通す習慣を身につける。 飼育管理にて学んだことを主体的に実践する。
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	動物飼育にマニュアルはなくても、基本はあります。 種が違っても共通すること、応用できることがたくさんあります。 飼育管理室で応用できる内容になるので積極的に実践してください。

【使用教科書・教材・参考書】
プリント資料配布
社団法人日本動物園水族館協会　発行　新飼育ハンドブック動物園編（適宜）

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	動物園・水族館研究	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長瀬　健二郎
開講科目	動物園・水族館研究	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
担当教員は1974年4月から2012年3月まで大阪市天王寺動物園に勤務した。獣医医療と動物園運営に係る管理職業務に従事していたので、これらの経験から得られた知識を生かし、現代社会が求める動物園を運営するにあたり必要不可欠となる知識を精細に教示する。

【到達目標】
学生が各自の理想とする動物園像ならびに飼育担当者像を構築し、動物園、あるいは野生動物飼育展示施設において動物の福祉を第一義とした業務を遂行できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	古代から始まる世界の動物園の歴史の中で野生動物の飼育の歴史を理解する
2回目	野生動物の飼育の歴史から動物園誕生へとつながる変遷について理解する
3回目	動物園の社会的役割の変遷について学び、近代動物園の果たすべき役割について理解する
4回目	近代動物園の展示の実例として天王寺動物園や英国の動物園具体例を学び、展示法について理解する
5回目	動物園運営の具体例として日本動物園水族館協会の活動概要と国内法規を学び、理解する
6回目	生命倫理並びに動物福祉について学び理解する
7回目	天王寺動物園での展示を実地に学び、近代動物園の展示計画の立案方法を学び解説できるようになる
8回目	動物分類学の基礎と国際動物命名規約を学び理解し、展示に応用できるようになる
9回目	脊椎動物の分類について学び、展示に応用できるよう理解する
10回目	様々な展示技法を学び、それぞれの利点や欠点をを上手に組み合わせる方法を概説できるようになる
11回目	環境エンリッチメントがいかに展示を充実させ、動物福祉の向上に貢献してきたかを概説できるようになる
12回目	環境エンリッチメントを分類し、それぞれのメリット、デメリットを十分に理解し概説できるようになる
13回目	環境エンリッチメントを実施するうえで必ず注意しなければならない留意点を理解し概説できるようになる
14回目	前期に学んできた内容を確認する期末試験を実施する
15回目	前期学習内容の総括を行う
準備学習 時間外学習	動物園を訪れたり、動物番組を見たり、できる限りの機会で野生動物のことを学び触れ合う機会を持って、積極的に動物園や動物に関する知識を増やす努力をする

評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	将来、動物園での勤務に必須の知識を教授したいと考えますので、授業を中断してもよいですから、疑問が湧けばすぐに質問するなど、積極的な受講を心がけてください。		

【使用教科書・教材・参考書】
使用教科書：改訂版　新・飼育ハンドブック　動物園篇３概論・分類・生理・生態
　　改訂版　新・飼育ハンドブック　動物園編４展示・教育・研究・広報
　　改訂版　新・飼育ハンドブック　動物園編５　環境エンリッチメント
参考書：「動物園学入門」朝倉書店 「動物園学」文永堂出版

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	飼育演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡部　あずさ
開講科目	動物飼育演習Ⅰ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
動物の飼育管理において必要な観察力、洞察力、思考力とは何かを知り、人も動物も安全な飼育方法について考える。そして、実際に飼育管理を経験し、物事を多角的に捉えられるようになる。
※実務経験：アドベンチャーワールドに8年間勤務し、内5年間は動物飼育管理業務に携わった。その後、IT企業にてデータ分析業務にも従事。高校理科(生物)教員免許を所持。

【到達目標】
校内外の動物施設（主に動物園）で実際の飼育管理や施設管理について学び、現場で必要とされる考え方を理解できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
2回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
3回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
4回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
5回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
6回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
7回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
8回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
9回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
10回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
11回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
12回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
13回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
14回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
15回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
準備学習 時間外学習	飼育当番は日頃の授業での学びを実践する場です。 日頃の全ての授業の中にヒントがたくさん隠れています。是非とも探してください。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度 （100%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格
受講生への メッセージ	飼育室にも飼育当番にも無数の正解があります。 チームで動物のために、誰かのために考え行動すること。この経験を大切に積み重ねてください。

【使用教科書・教材・参考書】
担任が配布する資料(適宜)

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	動物看護Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	上野 吉一
開講科目	動物福祉	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
動物と人との関係史から始まり、生命倫理、動物福祉の基本概念、社会的課題、実践的な評価方法に至るまで、動物福祉の幅広い側面を網羅している。生物学的基礎から心理的健全性、身体的健全性、ストレスと苦痛の管理、終生飼育と非終生飼育の違いに至るまで、動物の福祉を多角的に理解するための重要な知見が提供されます。また、社会的規制と法律に関する学習は、国際的な視点と法的な枠組みへの理解を深める。

【到達目標】
動物と人間の関係史、生命倫理や動物福祉の基本概念と歴史、社会的課題、評価と実践方法を深く理解し、動物のストレスと苦痛の生物学的側面、身体的健全性と心理的健全性、国際的な法規制と基準などを学ぶことで、動物福祉の多面的な側面を総合的に捉え、実践的なスキルを身に付ける。これをもとに展示動物の、施設づくり、環境エンリッチメント、展示の工夫などの基礎となる考え方を習得し、飼育方法と展示に関するアイデアを持てるようになる。

授業計画・内容	
1回目	動物と人の関係史：人類と動物の相互関係の歴史を学び、動物への考え方の変遷を理解できる。
2回目	生命倫理と動物倫理：生命倫理の基本原則を学び、動物への倫理的な責任を理解できる。
3回目	動物倫理の深化と応用：動物倫理の進展と実際の応用例を学び、倫理的な判断基準を習得する。
4回目	動物福祉の基本概念と歴史：基礎理論とその歴史的発展を学び、福祉の重要性を理解できる。
5回目	動物福祉の倫理と社会的課題：倫理的側面と社会的な課題を学び、複雑な問題を分析できる。
6回目	動物福祉の評価と実践：福祉の評価方法と実践的なアプローチを学び、具体的な改善策を提案できる。
7回目	動物福祉における数値基準・目標：数値基準と目標を適切に利用することができるようになる。
8回目	ストレスの生物学：動物のストレス反応の生物学を学び、ストレスの認識と管理方法を理解できる。
9回目	苦痛の生物学：動物の苦痛の生物学的側面を学び、苦痛の評価と緩和策を身に付ける。
10回目	情動と有感：動物の感情と感覚を理解し、動物の感情的な健全性を評価できる。
11回目	身体的健全性：動物の身体的な健全性の基準を学び、適切なケアの方法を身に付ける。
12回目	行動と心理的健全性：動物の行動と心理的健全性を理解し、行動的な問題を識別できる。
13回目	終生・非終生飼育の福祉：違いを学び、置かれた状況の中での最適な福祉を考えることができる。
14回目	動物福祉の社会的規制：各国の法律や基準などを学び、動物福祉のトレンドについて理解する。
15回目	定期試験1
準備学習時間外学習	各回のトピックに関し、参考図書やネット情報などを元に事前学習し、自分なりの考えを整理した上で授業に参加する。 日常のさまざまな場面において、動物への配慮の視点で物事をみる習慣をつける。
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% 上記内容にて合計100%とします
受講生へのメッセージ	動物福祉は唯一の回答があるものではありません。広い視点に立ち、またしっかりとした根拠を持って、動物の生活を考えることが重要です。幅広い知識を学ぶと同時に、動物の“心”に共感する姿勢を身に付けましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

＜参考書＞
動物福祉の科学：理念・評価・実践. 緑書房.（監訳）佐藤修介、加隈良枝
動物福祉の現在：動物とのより良い関係を築くために. 農林統計出版 .（編）上野吉一、武田庄平
動物福祉学. 昭和堂.（編）新村毅

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	陸上動物Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩田　光一
開講科目	陸上動物	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
動物の「生理」「生態」「形態（解剖学的）」を中心に一年を通して理解し、説明できるようにする
・動物による比較や人間との比較、動物園やそこで働くスタッフの意義
・動物園等の写真を見ながら動物の展示や看板などについて説明
※実務経験：伊豆シャボテン公園元園長、獣医師・学芸員の資格を持ち34年間勤務

【到達目標】
動物園、動物飼育施設をとりまく社会情勢、動物自体の基本や飼育、展示、取り扱いについての知識を学ぶとともに、その運営についても考えられるようにする。

授業計画・内容	
1回目	講義概略、動物園はみんなにとってどんな所？動物園での仕事は？
2回目	（公社）日本動物園水族館協会とは？
3回目	動物に関する社会的環境（条約等）について
4回目	動物に関する社会的環境（法律等）について
5回目	動物分類の基本について
6回目	生理学とは？生体の構成や基本的生命現象について
7回目	器官および系統について
8回目	血液（成分、役割、血液型等）ならびに血液循環について
9回目	骨格について
10回目	歯について、体側について
11回目	胸腔内臓器、腹腔内臓器、などの形態について
12回目	消化について（口腔内消化）
13回目	前期講義のまとめを行い、理解を深める
14回目	前期試験
15回目	前期試験解説
準備学習 時間外学習	自分自身が動物に関する仕事に就いたとしたら、何をしたいのか何ができるのかを考えるとともに、多くの動物に関する職においてその組織が何を考え、何をしようとしているのかを想像してみること 植物園や博物館などにも時間がある時は足を運ぶこと
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度(20%) 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	自分自身の将来をどう考えるか。時間の経過とともに種々変化をしていくとは思いますが、整理をしておいて下さい。その考えを聞かせて頂きます。 動物本体のみならず、その動物の生息地の環境（気候、地形、植物、文化歴史など）にも関心を持って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
改訂版 新飼育ハンドブック動物園編（日本動物園水族館協会）
世界の動物　分類と飼育（東京動物園協会）
動物園学入門（朝倉書店）

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	キャリアⅠ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	担任
開講科目	キャリアデザインⅠ	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会に出るということ、楽しく生き生きと歳を重ねていくということを、一緒に考える時間だと捉え、将来の自分について明るく前向きに想像できるようになる。そしてそのために必要な努力は何かを自ら考えられるようになる。

【到達目標】

担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを学ぶことができる。また、学校イベントを企画できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	前期を振り返って、各授業の目的を確認し、授業に対する自分自身の目標を持つことができる
2回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
3回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
4回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
5回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
6回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
7回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
8回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
9回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
10回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
11回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
12回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
13回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
14回目	これまでに読んだ本を他者に紹介し、学びや気付きを仲間と共有する楽しさを知ることができる
15回目	入学してから習得したものや上達したことを見つけ自己を認められる
準備学習 時間外学習	後期の間に最低2冊、本を読みましょう。 時事問題に関心を持ち、1週間で気になったニュースを毎週皆で共有しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（0%） 2. 小テスト（0%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(100%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生への メッセージ	日々の学校生活がより充実するように、 また、将来を明るく前向きに想像し、創造するための情報やヒントを伝えます。 皆で想いを共有する時間としても、この時間を大切にしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
担任が配布する資料(適宜)

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	アニマルベーシック	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	上野 吉一
開講科目	アニマルヒストリー	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
人類の歴史とともに進化してきた人と動物の関係性を深く掘り下げ、その相互作用の多様性と複雑さを考える。具体的には、生命の誕生から進化、家畜化、愛玩動物の出現、野生動物の利用、ペットビジネスの現状、動物セラピー、家族としての動物、労働動物、畜産業、競技動物、動物法まで、人間社会における動物の役割と価値観の変遷を理解する。

【到達目標】
進化に伴い、人間と動物の関係は深まり、家畜化から愛玩動物、野生動物の利用、ペットビジネス、動物セラピー、家族の一員としての動物、労働や競技動物、畜産業、動物福祉の取り組み、意識の高まり、動物法の進化に至るまで多様化した。こうした変遷を理解することで、人間と動物の絆の形成と現代社会での役割を深く考察し、動物との関わりを再考する基盤を築くことができる。

授業計画・内容	
1回目	「生命の誕生と進化」生命の誕生からの進化の道のりや現在の生物世界について理解できる。
2回目	「家畜化の歴史」 イヌや他の動物の家畜化による人と動物の関係の転換について理解できる。
3回目	「愛玩動物の歴史」 愛でるという精神的有意性のための動物である愛玩動物の成り立ちを理解できる。
4回目	「捕獲から観察へ」資源としての捕獲対象からエコツアー等での観察対象への変換に関し理解できる。
5回目	「ペット事情とビジネス」 ペット需要は高まりや、それに伴うビジネスとしても社会問題点を理解できる。
6回目	「人の心と動物セラピー」 動物を介在した癒やしや医療行為に関し、その方法や課題を理解できる。
7回目	「家族としての動物とその死の受け入れ方(ペットロス)」ペットの死による問題やその対応策を理解できる。
8回目	「人の社会で働く動物達」 現代社会で働く動物の役割や問題点を理解できる。
9回目	「人のために働くイヌ」 イヌは最も多様に用いられている。その役割や利用における問題を理解できる。
10回目	「畜産業と畜産動物」 畜産動物はどのような特性が作り出され、利用されているを理解できる。
11回目	「競い合わせる動物」 競い合わせる動物はどんな特性が利用され、どう作り出されるのかを理解できる。
12回目	「働くことは動物にとり不幸か」人のために働くことは動物福祉の観点からどう評価できるかを理解できる。
13回目	「動物への配慮の意識」 近年ますます高まっている動物を大切にしようという意識について説明できる。
14回目	「動物法の成立と発展」 文化なども踏まえ動物に関する法律がどういう状況にあるのかを説明できる。
15回目	定期試験

準備学習 時間外学習	歴史的視点で動物との関係や取り扱いについて考える習慣を身に付けることが重要です。また、授業で取り上げられるトピックに関連する事例や現代社会の動物に関する課題についても、事前に調査し、自分なりの見解を形成しておくと、授業の理解が深まります。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% 上記内容にて合計100%とします
受講生への メッセージ	動物を狩る対象から生活を共にし利用する対象へと、3万年から1万5千年前までの間に大きく変化しました。これにより人類の生活そのものが大きく変わりました。こうした動物と人の関係の歴史を知ることは、わたし達がこれからどのように動物と関わっていくべきかを考えるヒントを与えてくれます。そうした気付きを得ることを意識して受講しましょう		

【使用教科書・教材・参考書】

＜教科書＞
動物年表で知る　アニマルヒストリー
＜参考書＞
人と動物の日本史図鑑1～4. 少年写真新聞社

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	ITⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	コンピュータ演習Ⅰ	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
IT・AIに関する知識とスキルを学び、IT関係の企画立案が出来る力を身に付ける。ITリテラシを学び、ネットトラブルを回避する知識とスキルを身に付ける。また、ビジネスで必要なWord・Excel・パワーポイントのスキルを身に付ける。授業は、知識の理解だけ終わらないようグループワークや実習を取り入れて進めていく。※大学エクステンションセンターでIT関連資格を指導する教員。応用情報技術者、情報処理安全確保支援士。

【到達目標】
ビジネス活用できるWord/Excel/パワーポイントのスキルに加え、AI技術に関する知識も身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	PowerPoint1　スライド作成ができる。
2回目	PowerPoint2　スライド作成ができる。
3回目	PowerPoint3　作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。
4回目	PowerPoint4　動画を入れることができる。知的財産権について説明できる。
5回目	PowerPoint5　グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。AI用語を説明できる。
6回目	AI900対策1　AI900試験対策を通じて、AIの用語の説明が出来る
7回目	AI900対策2　AI900試験対策を通じて、AIの用語の説明が出来る
8回目	インターンシップ・企業研修時の情報セキュリティの注意点について説明できる。
9回目	Word1　図形の応用を習得する。
10回目	身近なシステムについて説明できる。AI用語を説明できる。
11回目	ICTを取り巻く環境の変化について説明できる。
12回目	プログラミング実習を通して、簡単なプログラミングを作れる。
13回目	Word2　名刺を作成することができる。
14回目	定期試験：就職活動および就職先で活かすべきスキルが身に付いたかを確認する。
15回目	まとめを行い、後期で学んだITスキルと知識を実践できるようになる。AI用語を説明できる。
準備学習 時間外学習	・講義の中でも紹介するがIT関連のニュースや書籍に積極的に触れる機会を作ること ・必要になった時にすぐに使えるように、講義中に実習したことは整理して保存しておくこと。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	ITのスキルと知識はこれからの時代に必須となっている。知識を増やすには普段から意識して情報に接することが大切になるため、IT系のニュースに触れる機会を増やすこと。また、Word・Excel・パワーポイントは、資料作成など他の授業でも必要なスキルのため、早く身につけることを心がけ、自ら積極的に学ぶ姿勢を持つこと期待する。

【使用教科書・教材・参考書】
Word2019、Excel2019（滋慶オリジナル）
滋慶学園グループ「IT・リテラシー」（滋慶オリジナル）
「30時間でマスター　プレゼンテーション＋PowerPoint2019」（実教出版）
データ保存のための記録媒体　USBフラッシュメモリ

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	ビジネスマナーⅠ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	大嶋　愛
開講科目	ホスピタリティ	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科	エコ・コミュニケーション科						

【 授業の学習内容 】　（ ※ 実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ）

サービス業従事者に必要なホスピタリティを体現できるようになる
① ホスピタリティを体現できるようマインドを学ぶ
② ホスピタリティを体現できるようビジネスマナーを修得する
③ ホスピタリティを体現できるよう人間力を磨く
※ 2006年から研修講師として活動し、企業や学校法人において1,000回以上の登壇実績がある。言葉と行動に影響を与える『 心のあり方 』を専門的に学び、これからの時代を担うビジネスパーソンの支援を得意としている。ティーチング主体の研修ではなく、考える力を育てる研修を実施している。

【 到達目標 】

日頃からホスピタリティを体現できるよになる
① 身近な方にホスピタリティを体現できるようになる
② 当事者意識を培う
③ ビジネスマナーを修得する

授業計画・内容	
1回目	ホスピタリティを体現する ①（ ホスピタリティとは ）
2回目	ホスピタリティを体現する ②（ イメージ管理 ・ 挨拶 ・ 笑顔 ・ 立ち居振る舞い ・ 身だしなみ ）
3回目	ホスピタリティを体現する ③（ 言葉遣い ① ）
4回目	ホスピタリティを体現する ④（ 言葉遣い ② ）
5回目	チームビルディング ①（ グループとチームの違い ・ コミュニケーション ）
6回目	チームビルディング ②（ PDCAマネジメントサイクル ）
7回目	モチベーションマネジメント
8回目	人間力を磨く ①（ 人格を高める ）
9回目	人間力を磨く ②（ 当事者意識を高める ）
10回目	ホスピタリティを体現する ⑤（ 心を込めたおもてなしとは ）
11回目	ホスピタリティを体現する ⑥（ 心を込めたメッセージを交換する ）
12回目	ホスピタリティを体現する ⑦（ プレゼンテーション ・ 準備 ： 私たちが実現していくホスピタリティとは ）
13回目	ホスピタリティを体現する ⑧（ 準備 ・ 発表 ： 私たちが実現していくホスピタリティとは ）
14回目	定期試験
15回目	試験返却　解説　振り返り
準備学習 時間外学習	感情（ エネルギー ）を管理する 自分で考え、自分の言葉で表現する 相手の話をしっかり（ 聞く ）利く 常に他者へ思い遣りのある言動に努める
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(20%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生への メッセージ	仕事でホスピタリティを体現するためには、日ごろから身近な方にホスピタリティを体現し、当たり前にできるようになることが大切です。まずは関わる方々への思い遣りの気持ちを言葉や態度で表現することから始めましょう。

【 使用教科書 ・ 教材 ・ 参考書 】

オリジナルテキスト
※ 各自で印刷準備する

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	マネジメントⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	マネジメント	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
・企業で働き成果を出すために必要な基本的知識を習得する。
・経営戦略、マーケティング戦略、人と組織のマネジメントについのて知識と考え方、活用方法を習得する。
・グループワーク、アクティブラーニング等でコミュニケーション能力を身につける。
※中小企業診断士の資格を保有し、企業の経営戦略やマネジメントに関する支援を行う。

【到達目標】
動物園・水族館をはじめとした動物施設の運営に必要な知識について学び、組織で動くためのコミュニケーションを身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	自己管理、スケジュール管理、時間管理　自分が実施している管理方法を振り返り、見直す。
2回目	＜第2部　マーケティング戦略＞　3. マーケティングの4P（製品、価格、流通、プロモーション）を習得する。
3回目	＜第2部　マーケティング戦略＞　4. 製品・サービス戦略　動物園が提供するサービスを考える実習を行う
4回目	＜第2部　マーケティング戦略＞　5. ブランド戦略（コンセプトメイク）　サービスの魅力を伝える実習を行う。
5回目	＜第2部　マーケティング戦略＞　6. プロモーション戦略　動物園に来てもらう方策を考える実習を行う。
6回目	＜第2部　マーケティング戦略＞　7. CS（顧客満足度）、ES（従業員満足度）を高める方法を習得する。
7回目	＜第2部　マーケティング戦略＞　マーケティング戦略の実践方法を調査する実習を行う。
8回目	＜第3部　人と組織のマネジメント＞　1. コミュニケーションのとり方を理解して、体験する実習を行う。
9回目	＜第3部　人と組織のマネジメント＞　2. リーダーシップの種類を知り、目指すリーダー像を考える。
10回目	＜第3部　人と組織のマネジメント＞　3. 組織のマネジメントの考え方を理解して、方法を考える実習を行う
11回目	＜第3部　人と組織のマネジメント＞　4. 動機づけの手法を理解して、方法を考える実習を行う。
12回目	＜第3部　人と組織のマネジメント＞　5. 問題の発見と解決の考え方を理解して、具体例で実習を行う。
13回目	＜第3部　人と組織のマネジメント＞　6. リスクへの対応　リスクの種類と対応方法を習得する。
14回目	後期試験　マーケティング戦略、人と組織のマネジメントについての知識が身についたかを確認する。
15回目	後期で学んだことを振り返り、学んだ知識の使い方を考える。
準備学習 時間外学習	・学んだことの意味を考えて、日々体験することに当てはめて理解を深める。 ・自分が企業（動物園・水族館）を経営することを想定して、自分だったらどうするかを考える。

評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　50% 2. 小テスト　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	企業の経営や運営をするための方法を学んだら、日々の生活で体験することがらに当てはめて考えてみてください。自己管理やコミュニケーションの方法については、実際に活用してみてください。学んだ知識は活用してこそ意味を持ち、学ぶことが楽しくなります。		

【使用教科書・教材・参考書】
・講師が作成するオリジナル資料
（参考書）・経営戦略の基本（日本実業出版社）
（参考書）・経営をしっかり理解する（日本能率協会マネジメントセンター）
（参考書）・マーケティングの基本（日本実業出版社）
（参考書）・マーケティング戦略（有斐閣アルマ）

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	アニマルベーシック	必修選択	必修	年次	1	担当教員	長谷川　明子
開講科目	環境教育	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
法治国家である日本において、自然環境を守るための様々な法律をその実践事例とともに学んでいきます。
日本の多様な生物相を理解し、世界との類似点、相違点についてネットなどから正しい情報を得る力を身につけます。
※講師紹介※　ビオトープ計画管理士1級。博士。尾張西部生態系ネットワーク協議会会長。日本生態系協会評議員。

【到達目標】

地球上における人と動物を取り巻く環境と、その相互関係について学び、持続可能なより良い社会づくりに貢献できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	総論：条約、法律、条例の違いと環境基準。環境基本法を例に約束事は誰が作り、その「読み方」を理解
2回目	柴犬は天然記念物？：文化財保護法と天然記念物について説明できる
3回目	象牙は買える？：ワシントン条約と種の保存法について説明できる
4回目	動物園と自然保護：コウノトリの郷公園、ズーラシアなどの取り組みと自然再生推進法の関係性が説明でき
5回目	Amazing Japan：日本にひかれた様々な線：日本の生物地理区とその生物相を説明できる
6回目	Wonderful Japan（1）：自然公園法と日本の国立公園（北海道・東北地域）をガイドできる
7回目	Wonderful Japan（2）：富士山は自然遺産？：世界遺産条約とその国内法の制度について説明できる
8回目	Wonderful Japan（3）：サンゴ礁が危ない？！西日本の国立公園をガイドできる
9回目	鳥獣保護法って保護するだけの法律？：街でカラスを捕獲できない理由が説明できる
10回目	身近な場所に公園がある理由：都市公園法を理解し、都市から森林が消える理由が説明できる
11回目	間伐って何？近自然森づくり：人工林と雑木林の違いを理解し、混交林化を考える。（森林法を理解）
12回目	ダムは何のためにつくられる？：河川法と近自然（多自然）川づくりを説明できる
13回目	リニア建設、太陽光発電は悪？それとも善？：環境影響評価法を理解し説明できる
14回目	これからの在り方：生物多様性基本法、生物多様性推進法を柱に社会の動きが説明できる
15回目	自然への恩返し：土地開発をしながら自然環境をより良くしていく方法について議論できる
準備学習時間外学習	日本や世界の自然環境や野生動物のテレビ番組やニュースを日ごろから観て下さい。 そして、それについての解説を文字で紹介できるようにします。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（0%） 4．課題成果(0%) 5．授業態度と参加度(20%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生へのメッセージ	伝えたいことを文字や絵、動画にできる能力は、これからますます求められます。 そのスキルは自分でやるしか身に付きません。講義と学外実践を通じて一緒に高めていきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
・環境を守る最新知識　信山社　日本生態系協会編
・ビオトープ管理士試験公式テキスト　日本生態系協会監修　（ビオトープ管理士受験者は必読）

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	海洋・水生生物	必修選択	必修	年次	1	担当教員	菱田 治男
開講科目	水生生物	授業形態	講義	総時間（単位）	30 (2)	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
・海洋生態と食物連鎖
・水族館でよく飼育されている主な水生生物の分類、種、各々の特徴
・一般的な飼育方法(海水／淡水／汽水)

【到達目標】

水生生物の分類・生態・形態を学ぶとともに、それらを飼育管理する上で必要な知識を習得し、生物への理解を深めることができる。

授業計画・内容	
1回目	海洋生態について学び、海とはどのような環境かをイメージできる。（＋海流について理解できる）
2回目	水生生物全般の分類と進化について学び、各門の特徴を捉えることができる。
3回目	水生生物が食物連鎖を通じて形成する複雑な生態系について学び、全体像をイメージできるようになる。
4回目	海綿動物・刺胞動物・有櫛動物
5回目	軟体動物
6回目	節足動物①
7回目	節足動物②
8回目	棘皮動物・半索動物・脊索動物
9回目	無顎類・軟骨魚類
10回目	硬骨魚類①(ウナギ目・ニシン目・コイ目)
11回目	硬骨魚類②(ナマズ目・サケ目・タラ目)
12回目	硬骨魚類③(スズキ目・フグ目)□
13回目	水生植物(藻類)
14回目	期末試験を実施する。
15回目	期末試験の返却と解説をする。
準備学習時間外学習	学校の図書や参考書およびインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(20%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生へのメッセージ	水生生物を飼育する上で、大切な分類と生態、形態についてしっかり学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】　飼育ハンドブック 水族館編 3

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	海洋・水生生物	必修選択	必修	年次	1	担当教員	楠本　真紀
開講科目	水族館飼育演習	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2単位）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ポップ作成をするにあたり、計画して行うことの必要性を学ぶ。発想力をつけさせるため、水族館以外も見て学ぶ。
＊水族館（二見シーパラダイス 現 伊勢シーパラダイス）で10年勤務、イルカをはじめトド、セイウチ、ゾウアザラシなどの海獣類を飼育、トレーニング、ショーなどを担当。

【到達目標】

・考えたことを計画し、形にしていき、発表や意見を言うことができる。
・実際に人に見せるものを創ることができる

授業計画・内容	
1回目	授業目的・目標について理解し、解説方法の定義について話すことができる
2回目	解説方法、そのポイントについて理解し、解説板の重要性を説明することができる
3回目	解説方法、そのポイントについて理解し、解説板の重要性を説明することができる
4回目	自ら行程をたて、解説版やポップレイアウトを見て説明することができる
5回目	自ら行程をたて、解説版やポップレイアウトを見て説明することができる
6回目	自ら行程をたて、解説版やポップレイアウトを見て説明することができる
7回目	解説版やポップレイアウトを見て、意見交換や発表をすることができる
8回目	提示した商品についてコンセプトやキャッチフレーズを考え、購入品を決定する
9回目	停止した商品についてポップを作成するため備品の使い方を説明することができる
10回目	ポップを作成、発表し意見交換をすることができる
11回目	自ら行程をたて解説版やポップレイアウトを見て説明することができる
12回目	自ら行程をたて解説版やポップレイアウトを見て説明することができる
13回目	解説版やポップレイアウトを見て、意見交換や発表をすることができる
14回目	水族館における配慮を学び説明することができる
15回目	1年間の振り返り
準備学習時間外学習	授業の中でポップを作成します。それに向けて色々な商品を見ておいて下さい
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生へのメッセージ	前期よりさらに発想力をつけるため、様々な事に興味をもち、より視野を広げられるように努めて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：社団法人 日本動物園水族館協会発行 新飼育ハンドブック 水族館編 第4集

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	アニマルベーシック	必修選択	必修	年次	1	担当教員	長瀬 健二郎
開講科目	動物の体のしくみ	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

担当教員は1974年4月から2012年3月まで大阪市天王寺動物園に勤務した。獣医医療と動物園運営に係る管理職業務に従事していたので、これらの経験から得られた知識を活かし、現代社会が求める動物園を運営するにあたり必要不可欠となる知識を精細に教授する。

【到達目標】

基本的な動物の体の構造や骨格、生理的な知識を学び、生物の理解に繋げることができる。

授業計画・内容	
1回目	皮膚、被毛などの外皮系について、その構造や働きを理解する
2回目	口腔、咽頭、食道などの消化器系について、その構造や働きを理解する
3回目	胃、腸管などの消化器系について、その構造や働きを理解する
4回目	肝臓、膵臓などの消化器系について、その構造や働きを理解する
5回目	腎臓、尿管などの泌尿器系について、その構造や働きを理解する
6回目	喉頭、気管、肺などの呼吸器系について、その構造や働きを理解する
7回目	雄性及び雌性の生殖器系について、その構造や働きを理解する
8回目	下垂体、甲状腺、上皮小体などの内分泌系について、その構造や働きを理解する
9回目	心臓、血液循環などの循環器系について、その構造や働きを理解する
10回目	眼球、耳などの感覚器系について、その構造や働きを理解する
11回目	脳、脊髄などの神経系と骨格筋、横隔膜などの筋系について、その構造や働きを理解する
12回目	頭蓋骨から趾骨に至る骨格系について、その構造や働きを理解する
13回目	全身にある様々な細胞について、その構造や働きを理解する
14回目	期末試験にて、本科目で学んだ内容を確認し、日頃の飼育管理に活かせているか否かを確かめることができる
15回目	後期学習内容の総括を行う

準備学習時間外学習	動物に関する本を読んだり、動物園を見学したり、動物番組を見たり、できる限りの機会を作って野生動物のことを学ぶ姿勢を持ち、知識量を増やす。		
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(20%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生へのメッセージ	動物の体の仕組み、すなわち彼らの解剖、生理を知ることは動物そのものを理解する大きな手掛かりとなります。基本の基本を学ぶので、少し退屈になるかもしれませんが、これらを理解できているのと、できていないのでは、これからの学習を進めるうえで大きな違いが生じます。基礎知識をしっかりと身につけるために授業に集中してください。		

【使用教科書・教材・参考書】
滋慶教育科学研究所　専門基礎科目テキスト『動物の体のしくみ』

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	動物園・水族館研究	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長瀬　健二郎
開講科目	動物園・水族館研究	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
担当教員は1974年4月から2012年3月まで大阪市天王寺動物園に勤務した。獣医師として獣医医療に長年、携わったので、その間得られた経験や知識を生かし、動物飼育の基礎となる動物の解剖学を分かりやすく精細に教授する。

【到達目標】
得られた解剖学の知識により動物の体の構造、機能、疾病等についてしっかりと理解し、今後の動物飼育管理業務に生かし、動物園、あるいは野生動物飼育展示施設において動物の福祉を第一義とした業務を管理、運営できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	動物の体の中でも外皮系のうち皮膚、皮膚腺、角質器について学び、身につけ説明することができる
2回目	外皮系のうち、角質器、感染、肉球、爪等について学び理解し、説明することができる
3回目	消化器系の中でも口腔内の歯、舌、唾液腺の形態や疾病について学び理解、し説明することができる
4回目	消化器系のうち咽頭、食道の形態や疾病について学び理解し説明できるようになる
5回目	消化器系のうち、単胃、複胃そして小腸の構造や機能を学び理解し、説明することができる
6回目	大腸や、肝臓、膵臓の構造や機能について学び理解し、説明することができる
7回目	泌尿器系や呼吸器系の気管や肺について学び理解し、説明することができる
8回目	肺や雄性生殖器系の構造や疾患について学び理解し、説明することができる
9回目	雌性生殖器系や内分泌系の各臓器について学び理解し、説明することができる
10回目	循環器系や感覚器系の器官について学び理解し、説明することができる
11回目	神経系の各器官の形態や疾患について学び理解し、説明することができる
12回目	筋系の各筋群の構造や機能について学び理解し、説明することができる
13回目	骨格や細胞の構造や形態について学び理解し、説明することができる
14回目	後期に学んできた内容を確認する期末試験を実施する
15回目	後期学習内容の総括を行う
準備学習 時間外学習	動物園を訪れたり、動物番組を見たり、できる限りの機会で野生動物のことを学び触れ合う機会を持って、積極的に動物園や動物に関する知識を増やす努力をする

評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	将来、動物園での勤務に必須となる知識を教授したいと考えますので、授業を中断しても良いですから、疑問が湧けばすぐに質問するなど、積極的な受講を心がけてください。		

【使用教科書・教材・参考書】
使用教科書：動物の体のしくみ　滋慶出版
参考書：「動物園学入門」朝倉書店 「動物園学」文永堂出版

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	飼育演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	渡部 あずさ
開講科目	動物飼育演習Ⅰ	授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

動物の飼育管理において必要な観察力、洞察力、思考力とは何かを知り、人も動物も安全な飼育方法について考える。そして、実際に飼育管理を経験し、物事を多角的に捉えられるようになる。
※実務経験：アドベンチャーワールドに8年間勤務し、内5年間は動物飼育管理業務に携わった。その後、IT企業にてデータ分析業務にも従事。高校理科(生物)教員免許を所持。

【到達目標】

校内外の動物施設（主に動物園）で実際の飼育管理や施設管理について学び、現場で必要とされる考え方を理解できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
2回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
3回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
4回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
5回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
6回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
7回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
8回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
9回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
10回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
11回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
12回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
13回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
14回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
15回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
準備学習時間外学習	飼育当番は日頃の授業での学びを実践する場です。 日頃の全ての授業の中にヒントがたくさん隠れています。是非とも探してください。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（0%） 2. 小テスト（0%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(100%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生へのメッセージ	飼育室にも飼育当番にも正解はありません。正解は一つとも限りません。 チームで動物のために、誰かのために考え行動すること。この経験を大切に積み重ねてください。

【使用教科書・教材・参考書】
担任が配布する資料(適宜)

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	動物看護Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	上野 吉一
開講科目	動物福祉	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

動物福祉の実践的視点、動物の心理状態、福祉の評価指標と方法、ハズバンダリートレーニング、環境エンリッチメントの概念と実践、愛玩動物、畜産動物、実験動物、野生動物、動物病院の福祉、展示動物の福祉、動物の展示と福祉の倫理的側面について理解する。また、これらを通じ、動物福祉の多角的かつ深い理解を培い、具体的な改善策や実践的な方法を学び、動物福祉の究極的な目標とその実現に向けた深い洞察力を習得する。

【到達目標】

動物福祉の実践的視点を「5つの自由」や「5つの領域」を通して理解し、動物の心理状態、福祉の評価指標と方法、環境エンリッチメントの概念と実践などについて学ぶ。また、愛玩動物、畜産動物、実験動物、野生動物、展示動物の福祉に関する特有の問題にも焦点を当て、それぞれの状況における適切な福祉対応を理解する。こうした学習を通じ、動物福祉の究極的な目標を理解し、動物福祉に関する深い洞察力を身に付けることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	動物福祉の実践的視点：「5つの自由」などの概念を学び、動物福祉の実践的視点を理解する。
2回目	動物の「心」：動物の主体性や自発性、動機づけを学び、動物の心理状態を理解する。
3回目	動物福祉の評価指標、評価方法：福祉の評価指標と方法を学び、福祉状態の評価を行える。
4回目	ハズバンダリートレーニング：トレーニングの方法を学び、動物との関わり方をより良いものにできる。
5回目	環境エンリッチメントの考え方：基本的な考え方を学び、生活環境の改善の視点を理解する。
6回目	環境エンリッチメントの方法と評価：具体的な方法とその評価を学び、行動への効果を分析できる。
7回目	環境エンリッチメントの5類型：環境の5つの類型を学び、それぞれの特徴の理解にもとづき実践できる。
8回目	環境エンリッチメントとQOL：動物のQOLと健全性に及ぼす影響を学び、総合的な福祉を考慮できる。
9回目	愛玩動物の動物福祉：愛玩動物の福祉に特有の問題を学び、愛玩動物の適切なケアを理解する。
10回目	畜産動物の動物福祉：畜産動物の福祉の課題を学び、畜産業における福祉の向上策を理解する。
11回目	実験動物、野生動物、動物病院の福祉：それぞれの動物における適切な福祉対応を深く認識できる。
12回目	展示動物の動物福祉：展示特有の課題を学び、展示環境での動物の健全性を評価できる。
13回目	動物福祉と展示：動物の展示と福祉の関係を学び、展示の倫理的側面を理解する。
14回目	総括：学んだ知識の総合的な理解を評価し、動物福祉に関する深い洞察力を身に付ける。
15回目	定期試験２
準備学習 時間外学習	各回のトピックに関し、参考図書やネット情報などを元に事前学習し、自分なりの考えを整理した上で授業に参加する。 日常のさまざまな場面において、動物への配慮の視点で物事をみる習慣をつける。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% 上記内容にて合計100%とします
受講生への メッセージ	動物福祉は唯一の回答があるものではありません。広い視点に立ち、またしっかりとした根拠を持って、動物の生活を考えることが重要です。幅広い知識や実践法を学ぶと同時に、動物の“心”に共感する姿勢を身に付けましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

＜参考書＞

動物福祉の科学：理念・評価・実践．緑書房．（監訳）佐藤修介、加隈良枝

動物福祉の現在：動物とのより良い関係を築くために．農林統計出版 ．（編）上野吉一、武田庄平

動物福祉学．昭和堂．（編）新村毅

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	陸上動物Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩田　光一
開講科目	陸上動物	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
動物の「生理」「生態」「形態（解剖学的）」を中心に一年を通して理解し、説明できるようにする
・動物による比較や人間との比較、動物園やそこで働くスタッフの意義
・動物園等の写真を見ながら動物の展示や看板などについて説明
※実務経験：伊豆シャボテン公園元園長、獣医師・学芸員の資格を持ち34年間勤務

【到達目標】
動物園、動物飼育施設をとりまく社会情勢、動物自体の基本や飼育、展示、取り扱いについての知識を学ぶとともに、その運営についても考えられるようにする

授業計画・内容	
1回目	消化（胃、反芻）について学び、説明できる。
2回目	消化（小腸、大腸）について学び、説明できる。
3回目	採食の調節、肝機能、腎機能を学び、説明できる。
4回目	体温（意義や生理的動揺）を学び、説明できる。
5回目	繁殖生理（性成熟、性周期など）を学び、説明できる。
6回目	繁殖生理（妊娠の判断、妊娠・分娩等の生理及び衛生など）を学び、説明できる。
7回目	公衆衛生（感染・流行の機序）を学び、説明できる。
8回目	公衆衛生（消毒、寄生虫症）を学び、説明できる。
9回目	公衆衛生（自身への感染を防ぎ、広げないために）を学び、説明できる。
10回目	展示(手段・方法)を学び、説明できる。
11回目	展示(環境エンリッチメント、ランドスケープ・イマージョン、動物福祉や倫理)を学び、説明できる。
12回目	展示(公園を作るにあたっての基本構想)を学び、説明できる。
13回目	求められる職員は？　後期講義まとめ
14回目	後期試験
15回目	後期試験解説
準備学習 時間外学習	自分自身が動物に関する仕事に就いたとしたら、何をしたいのか何ができるのかを考えるとともに、多くの動物に関する職においてその組織が何を考え、何をしようとしているのかを想像してみること 植物園や博物館などにも時間がある時は足を運ぶこと
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度(20%) 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	自分自身の将来をどう考えるか。時間の経過とともに種々変化をしていくとは思いますが、整理をしておいて下さい。その考えを聞かせて頂きます。 動物本体のみならず、その動物の生息地の環境（気候、地形、植物、文化歴史など）にも関心を持って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

改訂版 新飼育ハンドブック動物園編（日本動物園水族館協会）
世界の動物　分類と飼育（東京動物園協会）
動物園学入門（朝倉書店）

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	飼育演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	渡部 あずさ
開講科目	動物飼育演習Ⅱ	授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

動物の飼育管理において必要な観察力、洞察力、思考力とは何かを知り、人も動物も安全な飼育方法について考える。そして、実際に飼育管理を経験し、物事を多角的に捉えられるようになる。
※実務経験：アドベンチャーワールドに8年間勤務し、内5年間は動物飼育管理業務に携わった。その後、IT企業にてデータ分析業務にも従事。高校理科(生物)教員免許を所持。

【到達目標】

校内外の動物施設（主に水族館）で実際の飼育管理や施設管理について学び、現場で必要とされる考え方を理解できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
2回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
3回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
4回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
5回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
6回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
7回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
8回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
9回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
10回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
11回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
12回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
13回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
14回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
15回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
準備学習時間外学習	飼育当番は日頃の授業での学びを実践する場です。 日頃の全ての授業の中にヒントがたくさん隠れています。是非とも探してください。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（0%） 2. 小テスト（0%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(100%)　以上の割合で前期評価とします。
受講生へのメッセージ	飼育室にも飼育当番にも正解はありません。正解は一つとも限りません。 チームで動物のために、誰かのために考え行動すること。この経験を大切に積み重ねてください。

【使用教科書・教材・参考書】担任が配布する資料(適宜)

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	キャリアⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	担任
開講科目	キャリアデザインⅡ	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会に出るということ、楽しく生き生きと歳を重ねていくということを、一緒に考える時間だと捉え、将来の自分について明るく前向きに想像できるようになる。そしてそのために必要な努力は何かを自ら考えられるようになる。

【到達目標】

担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを学ぶことができる。また、学校イベントを企画できるようになる。後輩との関わりの中で、これまで身につけたものを振り返り、自信をつける。

授業計画・内容	
1回目	2年次の学校生活を送る上で必要な心掛けを確認し、自らの目標を設定することができる
2回目	1年生に対し、ここまでの気付きや1年次の学校生活を送る上での心掛けをアドバイスできる
3回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
4回目	ここまでの1ヶ月を振り返り、各授業の意図や面白さに気付き、他者と共有することができる
5回目	学園祭に向け、後輩たちとどのように関わりたいかを考え、皆で共有することができる
6回目	学園祭に向け、後輩たちとスムーズな連携ができるようになる
7回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
8回目	学校行事を振り返って、課題とその改善策を見出すことができ、かつ後輩と共有することができる
9回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
10回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
11回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
12回目	夏休みの過ごし方を考え、自分で自分のための目標を持つことができる
13回目	夏休みを振り返るとともに、学生スタッフの経験を自らの成長や気づきに繋げられる
14回目	前期に学校の中・外問わず得られた学びや気付きを仲間と共有し、互いに刺激を与え合える
15回目	後期のスケジュールやカリキュラムを確認し、自らの目標を設定することができる
準備学習 時間外学習	前期の間に最低2冊、本を読みましょう。 時事問題に関心を持ち、1週間で気になったニュースを毎週皆で共有しましょう。 ナショナルジオグラフィックの記事を、英文のまま読み解き、共有しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（0%） 2. 小テスト（0%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(100%)　以上の割合で前期評価とします。
受講生への メッセージ	日々の学校生活がより充実するように、 また、将来を明るく前向きに想像し、創造するための情報やヒントを伝えます。 皆で想いを共有する時間としても、この時間を大切にしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】担任が配布する資料(適宜)

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	IT Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	コンピュータ演習Ⅱ	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
IT・AIに関する知識とスキルを学び、IT関係の企画立案が出来る力を身に付ける。ITリテラシを学び、ネットトラブルを回避する知識とスキルを身に付ける。また、ビジネスで必要なWord・Excel・パワーポイントのスキルを身に付ける。授業は、知識の理解だけ終わらないようグループワークや実習を取り入れて進めていく。※大学エクステンションセンターでIT関連資格を指導する教員。応用情報技術者、情報処理安全確保支援士。

【到達目標】
ビジネス活用できるWord/Excel/パワーポイントのスキルに加え、AI技術に関する知識も身につけることができる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、Word1　企画書を作成する機能を使うことができる。ITリテラシーのテストに合格できる
2回目	Word2　複雑な表の作成方法を習得する
3回目	Word3　Excelとの連携方法（差し込み文書）を習得する
4回目	Word4　企画書作成や差し込み文書を自分で完成させることができる。
5回目	PowerPoint1　マスターテンプレートの変更方法を習得する。効果的なプレゼン方法を習得する。
6回目	PowerPoint2　グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。（卒業発表準備）
7回目	PowerPoint3　グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。（卒業発表準備）
8回目	Excel1　基本的な機能を全て習得できる。（1年生の復習）
9回目	Excel2　IF関数が使えるようになる。
10回目	Excel3　VLOOKUP関数が使えるようになる。
11回目	【実践編】サーバー設定、ブログシステムインストール体験
12回目	【実践編】ブログシステム設定体験
13回目	【実践編】ブログ運営体験
14回目	定期試験：就職活動および就職先で活かすべきスキルが身に付いたかを確認する。
15回目	まとめを行い、前期で学んだITスキルと知識を実践できるようになる。AI用語を説明できる。
準備学習 時間外学習	・講義の中でも紹介するがIT関連のニュースや書籍に積極的に触れる機会を作ること ・必要になった時にすぐに使えるように、講義中に実習したことは整理して保存しておくこと。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	ITのスキルと知識はこれからの時代に必須となっている。知識を増やすには普段から意識して情報に接することが大切になるため、IT系のニュースに触れる機会を増やすこと。また、Word・Excel・パワーポイントは、資料作成など他の授業でも必要なスキルのため、早く身につけることを心がけ、自ら積極的に学ぶ姿勢を持つこと期待する。

【使用教科書・教材・参考書】
Word2019、Excel2019（滋慶オリジナル）
滋慶学園グループ「IT・リテラシー」（滋慶オリジナル）
「30時間でマスター　プレゼンテーション＋PowerPoint2019」（実教出版）
データ保存のための記録媒体　USBフラッシュメモリ

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	ビジネスマナーⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	ビジネスマナー	授業 形態	講義	総時間 （単位）	30 （2）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
・会社の仕組みを理解し、組織で働く具体的な方法を習得する。
・社会に出て働くための力を理解し、自身の目標と成長するための具体的ステップを作成する。
・社会や企業において遵守すべき法律やルールを理解して、自身を守りながら成果を上げる方法を習得する。
※講師は中小企業診断士の資格を保有し、自身のビジネス経験をもとに講義、アドバイスを行う。

【到達目標】
社会人として守るべきルールと必要な能力や考え方を理解し、社会や組織で成長しながら成果を上げる具体的な方法を習得する。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション　＜第1章 会社に入るということ＞ 会社の役割、給与、社会保険について理解する。
2回目	＜第1章 会社に入るということ＞　企業における時間の使い方について理解し習得する。
3回目	＜マナー＞　あいさつの仕方、アポイントの取り方、プレゼンテーションの方法を理解して習得する。
4回目	＜第1章 会社に入るということ＞　人事異動、企業の倒産、転職について理解し習得する。
5回目	＜模擬企画＞　動物園に提案する企画（経営戦略）を考え、動物園（K2T講師）のアポイントを取る。
6回目	＜第2章 組織のなかで働くということ＞　上司部下の関係、取引先との関係について理解し習得する。
7回目	＜第2章 組織のなかで働くということ＞　社会人の時間管理と「報連相」について理解し習得する。
8回目	＜第2章 組織のなかで働くということ＞　文書、企画書、電子メールの書き方を習得する。
9回目	＜模擬企画＞　模擬企画を動物園（K2T講師）に提案して、フィードバックを受ける。
10回目	＜第3章 自分を成長させるキャリアパス＞　入社から仕事を始めるまでについての実習を行う。
11回目	＜第3章 自分を成長させるキャリアパス＞　キャリアパスの事例を知り、自身のキャリアパスを考える。
12回目	＜第3章 自分を成長させるキャリアパス＞　自身のキャリアプランと実現方法を考える実習を行う。
13回目	＜模擬企画＞　フィードバックを反映させた模擬企画を動物園（K2T講師）に提案する。
14回目	前期試験　会社で働くことについての知識と活用方法が身についたかを確認する。
15回目	前期で学んだことを振り返り、学んだ知識の使い方を考える。
準備学習 時間外学習	・学んだことの意味を考えて実践することで、理解を深め身につける。 ・自分が企業（動物園・水族館）で働くことをイメージして、働き方やキャリアパスを考える。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　50% 2．小テスト　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	学生と社会人とでは立場が大きく異なり、求められることが全く変わります。学生のうちに会社で働くことを知り準備を行うことで、スムーズに社会人生活を開始することができます。学んだことを日々の生活や学習の中で意識して活用してください。

【使用教科書・教材・参考書】

・講師が作成するオリジナル資料
・（参考書）新社会人の基礎力109

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	陸上動物Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	愛知牧場
開講科目	ファーム演習	授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

馬という動物について理解する同時に、馬に関わる道具や掃除の仕方などを学び、１人で馬に乗ることができるようになる。

※愛知牧場乗馬クラブインストラクター

【到達目標】

観光牧場や酪農施設・乗馬施設において、飼育管理や施設管理について学び、業界への理解を深めることができる。

授業計画・内容	
1回目	馬の行動について学び飼育管理に活用できる
2回目	馬の行動について学び飼育管理に活用できる
3回目	馬の行動について学び飼育管理に活用できる
4回目	馬の行動について学び飼育管理に活用できる
5回目	馬の行動について学び飼育管理に活用できる
6回目	馬の行動について学び飼育管理に活用できる
7回目	グランドワークについて学び実践できる
8回目	グランドワークについて学び実践できる
9回目	グランドワークについて学び実践できる
10回目	グランドワークについて学び実践できる
11回目	グランドワークについて学び実践できる
12回目	馬に乗り実際に動かすことが出来る
13回目	馬に乗り実際に動かすことが出来る
14回目	馬に乗り実際に動かすことが出来る
15回目	馬に乗り実際に動かすことが出来る
準備学習 時間外学習	馬について知ってもらうためどんな種類がいるのか調べておく。 自身の体調管理を怠らず、馬には万全な状態で乗れるようにしてください。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(20%)　以上の割合で前期評価とします。
受講生への メッセージ	１日も無駄にすることなく馬について知って欲しいです。 沢山質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

教材：ノート、筆記用具のみ

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	マネジメントⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	名鉄観光サービス株式会社
開講科目	企画プランニング演習	授業形態	演習	総時間（単位）	120（8）	開講区分	前期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

観光業やツアーの成り立ちを知りながら、プロジェクトの企画立案の方法について実践的に学ぶ。

(実務経験)現在は名鉄観光サービス(株)にて海外誘客を担当し、国内外の観光事業について広い見識を持つ。

【到達目標】

実際に企業と連携して活動するためのスケジューリングやプランニングを習得する。

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・授業オリエンテーション・企画プランニングについて本科目の目的を知り、目標設定ができる
2回目	”旅行業的”国内地理について学び、知識を深めることができる
3回目	”旅行業的”海外地理について学び、知識を深めることができる
4回目	地域活性について学び、知識を深めることができる
5回目	企画プランニングについて検証を行い、サービスとプランニングの意図を考え、ツアー企画の知識を深めることができる
6回目	企画プランニング演習① ツアー企画案を考え、プランニング能力を高めることができる
7回目	企画プランニング演習② ツアー行程表を考え作成し、プランニング能力を高めることができる
8回目	企画プランニング演習③ ツアー料金を考え設定し、プランニング能力を高めることができる
9回目	企画プランニング演習④ パンフレット制作し、プランニング能力を高めることができる
10回目	企画プランニング演習⑤ パンフレット制作及び確認を行い、プランニング能力を高めることができる
11回目	企画プランニング演習⑥ プレゼン資料を作成・プレゼン練習し、プランニング能力を高めることができる
12回目	企画プランニング演習⑦ プレゼン発表し、プランニング能力を高めることができる
13回目	企画プランニング演習⑧ 課題成果物とプレゼンの評価を行い、それまでに得た知識を確認することができる
14回目	試験・レポート提出：学んだ内容の確認を行い、レポートにまとめて提出する
15回目	まとめ：レポート内容を振り返り、得た知識をより明確なものにできる
準備学習時間外学習	・日本地図、世界地図、地球儀等を見ておおまかな感覚を持っておく ・国内、海外旅行企画時に興味のある方面のツアーパンフレットを予め旅行会社へ出向きパンフレットを収集する
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(20%)　以上の割合で前期評価とします。
受講生へのメッセージ	旅行業を通じて旅行業的リテラシーを習得し、ツアー企画を作り上げていく中で論理的な考えができ、企画プランニングの楽しさがわかるように楽しく学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	公衆衛生・関連法規	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	後藤　清史
開講科目	インタープリテーション	授業 形態	演習	総時間 （単位）	30 （2単位）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
自然環境とそこに棲む生物や地域特性などを理解し、人間と自然を結びつけるための方法を学ぶ。持続可能な、より良い社会づくりに貢献できる社会人を目指し、創意工夫できるようなマインドとアイデアを育む。動物園での教育活動や人材育成として自然体験等を行う現場での活躍を念頭に、スタッフ養成として授業を展開する。インタープリテーションスキルを学ぶだけでなく、様々な事例を通じてインタープリター（インタープリテーションを活用できる主に自然系専

【到達目標】
「人と人が想いや考えを共有する」ために様々工夫を凝らしたり、言語化・視覚化するための引き出しを増やし、他者に働きかける力が身につく。インタープリテーションという解説対象と参加者を結びつけるための対話教育的な手法を学び、自ら工夫し、レクチャーやガイドを実践できるようになる。また、学習を目的とする施設の運営スタッフに求められる基礎的なスキルと姿勢を身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	マインドマップ。マインドマップ等の手法を活用し、物事を関連して捉え認識できる。
2回目	里山概論。自然との関わりや、その変遷について学び、課題を含め簡単に説明できる。
3回目	施設管理概論。公園など施設の管理運営における運営管理視点の重要性を理解し、説明できる。
4回目	施設管理概論。公園などの施設整備における目的の重要性を理解し、説明できる。
5回目	幼児向けアクティビティ体験。幼児向けの自然体験を目的としたアクテビティを提案できる。
6回目	ファシリテーショングラフィック。ファシリテーショングラフィックの手法を使い論点の整理ができる。
7回目	滞在型プログラムの理解。提供する滞在型プログラムを理解し、運営の支援ができる。
8回目	滞在型プログラムの理解。目的に合わせた簡単な滞在型プログラムを提案できる
9回目	インプロビゼーション（即興劇）の体験。非構成的場面での対応力の養成に有効であることを説明できる。
10回目	アクティビティ指導実践（アクティビティ理解と指導準備）。アクティビティを理解し、指導案を作成できる。
11回目	アクティビティ指導実践（指導体験とティーチバック）。アクティビティを目的に沿って指導できる。
12回目	アクティビティ指導実践（指導体験とティーチバック）。アクティビティを目的に沿って指導できる。
13回目	KP（紙芝居プレゼンテーション）法①。手法を理解し、KP法の簡単な説明ができる。
14回目	KP（紙芝居プレゼンテーション）法②。KP法を使用し、目的に合わせた解説ができる。
15回目	これまでの全ての授業を振り返り、自身が習得できたものを確認し今後の課題を見つけることができる。
準備学習 時間外学 習	予習：新聞等により環境や社会情勢の情報を集め個人として意見を持つ練習を行う。復習、授業内内容をノートに書き留める。そのうえで、配布資料等を再確認するとともに授業で扱った内容について他者の意見も踏まえ考察する。
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（50%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験（%）、2．小テスト（30%）、3．レポート（%）、4．課題成果（50%） 5．授業態度と参加度（20%）出席率12%、授業態度8%(グループ討議等での他者との協調性を含めた取り組み姿勢や受講準備及び質疑応答）
受講生へ の メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】
他所論文、報告など時事的内容のコピー

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	陸上動物Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	土屋　美穂
開講科目	エキゾチックアニマル	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2単位）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
エキゾチックアニマルの分類・生態・形態または動物園などの飼育施設・個人宅における飼育事情を知り、
飼育管理する上で必要な知識を深める。

【到達目標】
生体に関する情報のみならず、飼育管理する上での設備や備品についても知識を深め、施設維持並びに展示の観点からも創意工夫ができるようになる。また、他者への説明や相談・交渉を円滑に行えるようになる。

授業計画・内容	
1回目	他者紹介
2回目	リスクマネジメント③-１
3回目	リスクマネジメント③-２
4回目	リスクマネジメント③-３
5回目	ロープワーク
6回目	ロープワーク②
7回目	トレーニング①
8回目	トレーニング②
9回目	トレーニング③
10回目	飼育動物に関するガイド作成③
11回目	飼育動物に関するガイド作成③
12回目	飼育動物に関するガイド発表③
13回目	クラフトワーク
14回目	ボードゲーム①
15回目	ボードゲーム②
準備学習 時間外学習	
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（50%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　3．レポート　4．課題成果　いずれか、または合計で50% 2．小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	学んだことを自分の言葉に置き換えて説明ができるように理解・把握し、対応していける人材になるよう取り組んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

プリント資料配布

名古屋ECO動物海洋専門学校　2023年度 シラバス

授業科目	キャリアⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	担任
開講科目	キャリアデザインⅡ	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

社会に出るということ、楽しく生き生きと歳を重ねていくということを、一緒に考える時間だと捉え、将来の自分について明るく前向きに想像できるようになる。そしてそのために必要な努力は何かを自ら考えられるようになる。

【到達目標】

担任とクラスメイトとのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えを学ぶことができる。また、学校イベントを企画できるようになる。後輩との関わりの中で、これまで身につけたものを振り返り、自信をつける。

授業計画・内容	
1回目	前期を振り返って、各授業の目的を確認し、授業に対する自分自身の目標を持つことができる
2回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
3回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
4回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
5回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
6回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
7回目	飼育当番に関する意見交換を行い、自身の課題発見と同時にチームワークについても考えられる
8回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
9回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
10回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
11回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
12回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
13回目	施設見学に向けたプランニングの中で、時間管理や円滑な集団行動のヒントを得ることができる
14回目	これまでに読んだ本を他者に紹介し、学びや気付きを仲間と共有する楽しさを知ることができる
15回目	2年間で習得したものや上達したことを見つけ自己を認められる
準備学習 時間外学習	後期の間に最低2冊、本を読みましょう。 時事問題に関心を持ち、1週間で気になったニュースを毎週皆で共有しましょう。 ナショナルジオグラフィックの記事を、英文のまま読み解き、共有しましょう。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（0%） 2. 小テスト（0%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(100%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生への メッセージ	日々の学校生活がより充実するように、 また、将来を明るく前向きに想像し、創造するための情報やヒントを伝えます。 皆で想いを共有する時間としても、この時間を大切にしていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】担任が配布する資料(適宜)

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	ビジネスマナーⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	ビジネスマナー	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
・会社の仕組みを理解し、組織で働く具体的な方法を習得する。
・社会に出て働くための力を理解し、自身の目標と成長するための具体的ステップを作成する。
・社会や企業において遵守すべき法律やルールを理解して、自身を守りながら成果を上げる方法を習得する。
※講師は中小企業診断士の資格を保有し、自身のビジネス経験をもとに講義、アドバイスを行う。

【到達目標】
社会人として守るべきルールと必要な能力や考え方を理解し、社会や組織で成長しながら成果を上げる具体的な方法を習得する。

授業計画・内容	
1回目	＜第4章「社会人基礎力」を高める＞ 「前に踏み出す力」について考える実習を行う。
2回目	＜第4章「社会人基礎力」を高める＞ 「考え抜く力」について考える実習を行う。
3回目	＜第4章「社会人基礎力」を高める＞ 「チームで働く力」について考える実習を行う。
4回目	＜模擬企画＞　水族館に提案する企画（マーケティング）を考え、水族館（K2T講師）のアポイントを取る。
5回目	＜第5章 企業人として遵守すべき規範＞　企業犯罪の事例と対処方法について理解する。
6回目	＜第5章 企業人として遵守すべき規範＞　会社が守るべき法律を理解し対処方法を考える実習を行う。
7回目	＜第5章 企業人として遵守すべき規範＞　社員が守るべき法律を理解し対処方法を考える実習を行う。
8回目	＜第5章 企業人として遵守すべき規範＞　知的財産、個人情報の取り扱い方について理解する。
9回目	＜模擬企画＞　模擬企画を水族館（K2T講師）に提案して、フィードバックを受ける。
10回目	＜第6章 社会人としての自分を守り高める＞　社会人になるための心構えをつくる実習を行う。
11回目	＜第6章 社会人としての自分を守り高める＞　必要な金銭感覚と管理について考える実習を行う。
12回目	＜第6章 社会人としての自分を守り高める＞　社会生活を送るための常識について考える実習を行う。
13回目	＜模擬企画＞　フィードバックを反映させた模擬企画を水族館（K2T講師）に提案する。
14回目	後期試験　社会人に必要な力、遵守すべきことについての知識が身についたかを確認する。
15回目	後期で学んだことを振り返り、学んだ知識の使い方を考える。
準備学習 時間外学習	・学んだことの意味を考えて実践することで、理解を深め身につける。 ・自分が企業（動物園・水族館）で働くことをイメージして、働き方やキャリアパスを考える。
評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（30%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1．定期試験　50% 2．小テスト　30% 5．授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	学生と社会人とでは立場が大きく異なり、求められることが全く変わります。学生のうちに会社で働くことを知り準備を行うことで、スムーズに社会人生活を開始することができます。学んだことを日々の生活や学習の中で意識して活用してください。

【使用教科書・教材・参考書】

・講師が作成するオリジナル資料
・（参考書）新社会人の基礎力109

名古屋ECO動物海洋専門学校　2023年度 シラバス

授業科目	マネジメントⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	名鉄観光サービス株式会社
開講科目	企画プランニング演習	授業形態	演習	総時間（単位）	120（8）	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

観光業やツアーの成り立ちを知りながら、プロジェクトの企画立案の方法について実践的に学ぶ。

(実務経験)現在は名鉄観光サービス(株)にて海外誘客を担当し、国内外の観光事業について広い見識を持つ。

【到達目標】

実際に企業と連携して活動するためのスケジューリングやプランニングを習得する。

授業計画・内容	
1回目	授業オリエンテーション・企画プランニングについて本科目の目的を知り、目標設定ができる
2回目	”旅行業的”国内地理について学び、知識を深めることができる
3回目	”旅行業的”海外地理について学び、知識を深めることができる
4回目	インバウンド（訪日外国人）の特質について学び、知識を深めることができる
5回目	企画プランニングについて検証を行い、サービスとプランニングの意図を考え、ツアー企画の知識を深めることができる
6回目	企画プランニング演習① ツアー企画案を考え、プランニング能力を高めることができる
7回目	企画プランニング演習② ツアー行程表を考え作成し、プランニング能力を高めることができる
8回目	企画プランニング演習③ ツアー料金を考え設定し、プランニング能力を高めることができる
9回目	企画プランニング演習④ パンフレット制作し、プランニング能力を高めることができる
10回目	企画プランニング演習⑤ パンフレット制作及び確認を行い、プランニング能力を高めることができる
11回目	企画プランニング演習⑥ プレゼン資料を作成・プレゼン練習し、プランニング能力を高めることができる
12回目	企画プランニング演習⑦ プレゼン発表し、プランニング能力を高めることができる
13回目	企画プランニング演習⑧ 課題成果物とプレゼンの評価を行い、それまでに得た知識を確認することができる
14回目	課外授業　優れた評価を受けた企画プランニングでツアー実務を行い、企画プランニングの検証することがができる
15回目	試験・レポート提出：学んだ内容の確認を行い、レポートにまとめて提出する
準備学習時間外学習	・日本地図、世界地図、地球儀等を見ておおまかな感覚を持っておく ・国内、海外旅行企画時に興味のある方面のツアーパンフレットを予め旅行会社へ出向きパンフレットを収集する
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(20%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生へのメッセージ	旅行業を通じて旅行業的リテラシーを習得し、ツアー企画を作り上げていく中で論理的な考えができ、企画プランニングの楽しさがわかるように楽しく学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	公衆衛生・関連法規	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	須崎　貴善
開講科目	潜水士対策講座	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

テキストによる学習と過去問を解くことで、潜水士の資格試験に合格できるようになる。＊ダイビングインストラクターとしてダイビングショップで勤務したのち、独立。専門学校等で潜水士資格の取得を目指す講義をおこなっている。

【到達目標】

・国家資格である、潜水士免許を取得し、実務に活かすことができる。

授業計画・内容	
1回目	第1編　潜水業務について理解できる(第1編　解説)
2回目	実際に潜水業務問題集を解き、さらに理解できる(問題集の解答と解説)
3回目	第2編　送気、潜降及び浮上について理解できる(第2編　解説)
4回目	実際に送気、潜降及び浮上問題集をとき、さらに理解できる(問題集の解答と解説)
5回目	第3編　高気圧障害について理解できる(第3編　解説)
6回目	実際に高気圧障害問題集を解き、さらに理解できる(問題集の解答と解説)
7回目	第4編　関係法令について理解できる(第4編　解説)
8回目	実際に関係法令問題集を解き、さらに理解できる(問題の解答と解説)
9回目	過去問　3年前の前期①を解き実力を確認できる(問題の解説　申請書の記入)
10回目	過去問　3年前の前期②を解き実力を確認できる(問題の解説　申請書の記入)
11回目	過去問　3年前の後期を解き実力を確認できる(過去問題の解答と解説)
12回目	過去問　2年前の前期を解き実力を確認できる(過去問題の解答と解説)
13回目	過去問　2年前の後期を解き実力を確認できる(過去問題の解答と解説)
14回目	過去問　昨年の前期を解き実力を確認できる(過去問題の解答と解説)
15回目	過去問　昨年の後期を解き実力を確認できる(過去問題の解答と解説)

準備学習 時間外学習	その週に実施した内容の振り返り		
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(30%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 授業態度と参加度(20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1. 定期試験　50% 2. 小テスト　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	全員が合格できるように、出来るだけ多くの過去問題に取り組んで下さい。 分からないことは後回しにせず聞く癖をつけること。		

【使用教科書・教材・参考書】
・潜水士テキスト 送気調節業務特別教育用テキスト/中央労働災害防止協会
・国家試験　潜水士対策問題集

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	陸上動物Ⅱ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	土屋　明彦
開講科目	畜産飼養	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
改良が進んだ家畜も動物本来の生理、習性を持っている。規模拡大に伴う飼養管理技術の進歩、機械化等々、今日の畜産は食料工場を感じさせられる。家畜は動物であり、生命あるものという意識をもって、飼育管理全般を習得する。1. 品種改良　2. 家畜生理　3. 家畜栄養　4. 飼料　5. 飼育方法　6. 衛生　7. 廃出物利用等。

【到達目標】
牛・豚・鶏などの家畜動物の品種、個体生理、繁殖、飼料、病気など飼育管理する上で必要な知識を学び、
実務的な飼養管理技術を習得して実践できる。
ワクチン接種に対する免疫機構を学ぶ。

授業計画・内容	
1回目	養豚1（豚の品種・飼養形態）
2回目	養豚2（解剖と生理）
3回目	養豚3（飼育管理）
4回目	酪農1（品種と・飼養形態）
5回目	酪農2(解剖と生理）
6回目	酪農3（飼育管理）
7回目	酪農4（飼育管理）
8回目	酪農5（搾乳衛生）
9回目	肉牛の（品種・飼養形態）
10回目	肉牛の（飼養管理）
11回目	馬学
12回目	山羊・綿羊・ダチョウの管理
13回目	重要事項の復讐
14回目	前期試験
15回目	試験答案の解説
準備学習 時間外学習	休暇を利用しての牧場見学　スーパーでの畜産物（牛肉、豚肉、鶏肉、卵、牛乳）の観察

評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	1定期試験50%　2小テストおよびレポート30% 3授業態度と参加度20%
受講生への メッセージ	個々の目標とは違った動物は関係ないと思わないで、畜産は身近にあり、畜産動物の飼育は基本の基本。出席して幅広い知識を習得してほしい。		

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	公衆衛生・関連法規	必修選択	必修	年次	2	担当教員	有限会社 K2Tｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ
開講科目	動物関連法規	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科			(単位)	(2)		

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）
本講座は、動物関連法規について学習していきます。基本的な法律用語（「又は」「若しくは」「及び」「並びに」）を学び、文章を読む力＝読解力養成も同時に行います。法律が制定された背景も含めて解説することで実務に役立つ法律知識を身に付けていきます。法律を学ぶことは社会を知ることにもつながり、一般教養を身に付けることにも役立ちます。

【到達目標】
動物関連の法律について概要を理解するとともに、法律用語、法律の背景、勉強の仕方、動物園・水族館と法律の関係について理解できる力を付ける。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、勉強の仕方、法令体系、法律と法律用語の基礎を習得できる。
2回目	動物関連法規の概要について理解できる。
3回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」の制定及び改正の経緯について理解できる。
4回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」の概要について理解できる。
5回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」の基本指針、動物の適正な取扱い①について理解できる。
6回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」の第一種動物取扱業者①について理解できる。
7回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」の第一種動物取扱業者②について理解できる。
8回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」の第一種動物取扱業者③について理解できる。
9回目	「動物の愛護及び管理に関する法律」のその他の項目について理解できる。
10回目	「動物の飼養及び保管に関する基準等」について理解できる。
11回目	「狂犬病予防法」について理解できる。
12回目	「身体障害者補助犬法」について理解できる。
13回目	「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律」について理解できる。
14回目	定期試験：就職活動および就職先で活かすべきスキルが身に付いたかを確認する。
15回目	まとめを行い、動物関連法規の全体像を確認し、理解できる。
準備学習 時間外学習	・資料は毎回整理し、今後他の授業や実務で活用できるようにしておくこと。
評価方法	1. 定期試験（50%） 2. 小テスト（30%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（20%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験　3. レポート　4. 課題成果　いずれか、または合計で50% 2. 小テスト（筆記・レポート・実技試験 など）　30% 5. 授業態度と参加度　20% ※ 上記内容にて合計100%とします ※ 小テストは「10点満点×3回実施」を基本とします
受講生への メッセージ	法律を知ることで社会の仕組みを知ることも出来ます。動物関連のニュースや出来事を意識し、法律との関連を考えながら情報収集しておいてください。

【使用教科書・教材・参考書】
講義内で使う資料は毎回配布する。
【参考書】愛玩動物飼養管理士2級教本

名古屋ECO動物海洋専門学校　2024年度 シラバス

授業科目	飼育演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	渡部 あずさ
開講科目	動物飼育演習Ⅱ	授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	後期
学科	エコ・スペシャリスト科						

【授業の学習内容】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

動物の飼育管理において必要な観察力、洞察力、思考力とは何かを知り、人も動物も安全な飼育方法について考える。そして、実際に飼育管理を経験し、物事を多角的に捉えられるようになる。
※実務経験：アドベンチャーワールドに8年間勤務し、内5年間は動物飼育管理業務に携わった。その後、IT企業にてデータ分析業務にも従事。高校理科(生物)教員免許を所持。

【到達目標】

校内外の動物施設（主に水族館）で実際の飼育管理や施設管理について学び、現場で必要とされる考え方を理解できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
2回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
3回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
4回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
5回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
6回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
7回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
8回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
9回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
10回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
11回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
12回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
13回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
14回目	飼育当番を行い、授業で学んだことを実践すると同時に、創意工夫を発揮することができる
15回目	飼育当番における気づきを仲間と共有し、自分には無い他者の視点や感覚を尊重できる
準備学習時間外学習	飼育当番は日頃の授業での学びを実践する場です。 日頃の全ての授業の中にヒントがたくさん隠れています。是非とも探してください。
評価方法	1. 定期試験（%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（%） 5. 授業態度と参加度（%） 評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格 1. 定期試験（0%） 2. 小テスト（0%） 3. レポート（0%） 4. 課題成果(0%) 5. 授業態度と参加度(100%)　以上の割合で後期評価とします。
受講生へのメッセージ	飼育室にも飼育当番にも正解はありません。正解は一つとも限りません。 チームで動物のために、誰かのために考え行動すること。この経験を大切に積み重ねてください。

【使用教科書・教材・参考書】担任が配布する資料(適宜)